

教員名	西沢淳男	所属学科	地域政策学部
【ゼミでは何を学ぶのか】 本ゼミでは、各々の関心に基づいて、地域史(出身地域の歴史)を新たな視点から捉え直し、主体的に調べ、まとめることを学ぶ。そのためには、歴史の追体験、すなわちフィールドワーク＝積極的に地域を歩き(歴史の現場)、歴史の証言者(史料や文化財・遺跡)と対話をしていきます。			
【どのように学ぶのか】 三年次生は、地域史を研究する方法を学び、地域史を研究する上で必要な史料・文献輪読を通じて地域において主体的に歴史研究を行う力を養います。毎回報告者を決め、報告者は報告範囲の「人名・地名・語句説明」、「内容要約」、「論点・留意点」を記載したレジュメを作成し報告します。その報告をもとに質疑・討論を行い、問題意識をもってもらおう。 学んだことを地域づくり学科のゼミとして実践するために、夏休みにゼミ合宿を行い、歴史をいかした町づくりをどのようにすればよいのか、地元の教育委員会や地域住民とともに考えている。 四年次生は、卒業論文作成に向けて各々の関心をもとにテーマを設定し、報告をする。この過程で、各報告者の地域の個別性や共通性について考えて、各自の研究に生かしてもらおう。 年に1回、三年次テキストに関係する県内史跡を巡見し、歴史の追体験をしている。			
【学んだことはどのように生かせるのか】 史料にもとづき、歴史を客観的にとらえることを学ぶことにより、すなわち物事を客観的に分析する能力がつく。 ゼミ生の進路としては、学校教員や地方公務員志望者が多く、毎年公務員合格者が出ている。			
【おすすめの入門書 基本テキスト】 E.H. カー『歴史とは何か』(岩波新書) 網野善彦『日本の歴史を読みなおす』(ちくま学芸文庫) 『日本の歴史』1～9 (岩波書店〈岩波ジュニア新書〉)			
【まだ見ぬ君へのメッセージ】 学校教科書・ゲーム・漫画・ドラマ等のイメージで形づくられた偽り歴史に満足せず、批判的に、客観的に真の歴史をみていこう。			